

事業実績シート

1 事業の概要

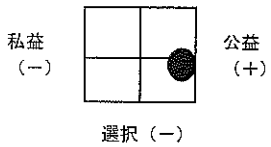
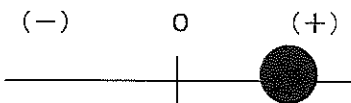
協会事業名	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	平成27年度大韓民国 康津郡陶磁器文化交流事業			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	波佐見町	企画財政課	副島吉晴	0956-85-8400
事業期間	開始年	平成22年10月20日 (4年目)		
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[]			
実施期間	(開始日)平成27年10月21日 (完了日)平成27年10月23日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	(委託内容)			
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)	
	町内の陶芸家や陶磁器関係者		お互いの伝統産業である陶磁器(青磁)を通して、民間・行政の交流の輪を広げていきたい。	
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	陶磁器(青磁)を縁として友好交流都市の締結(平成22年10月20日)をしていることから、陶芸家や陶磁器関係者の交流を図り、さらに文化・芸術・観光・経済・スポーツ・行政など両郡町の交流を推進して行く。			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景)			
	大韓民国康津郡は、千年を超える伝統ある高麗青磁発祥の地であり、積極的に国際交流を推進している折から、同じく陶磁器の町である本町に交流の働きかけがあったものです。			
	(経緯・現状)			
	お互いの陶器に関わる康津青磁祭り、波佐見陶器まつりを陶芸家や行政関係者が訪問し、交流を深めています。			

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）		736,260	1,885,400	840,790				
(財源内訳)	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	市町振興共同事業助成金	589,000	1,088,000	672,632				
	一般財源	147,260	797,400	168,158				
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	相互に陶器まつりを訪問し、お互いの文化に対する理解を深める。	陶芸家等を派遣し、交流する。	回	目標	1	1	1
					実績	1	1	1
				目標達成率(%)		100	100	100
	②				目標			
					実績			
目標達成率(%)								

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需 (+)  私益 (-) 公益 (+) 選択 (-)
	(公益性) <input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価		(3) 廃止又は休止した場合の影響
妥当性低い 妥当性高い (-) 0 (+) 		(影響内容、程度等) 友好交流協定を締結しているの、当然、訪問、交流を継続して行きたい。	

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		相互に訪問交流事業を目標としており、達成することができた。		
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地				
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある		(工夫の内容・工夫の余地がない理由)		
	実施予定 期 日	H28.5	平成25年4月28日に日韓陶磁文化芸術祭の開催について合意書を交わしている。平成26年度は康津で開催されたが、平成28年度は波佐見町で開催予定である。お互いの陶磁器文化の交流を更に進め、これまで以上に陶芸家を巻き込んだ交流を行っていく必要がある。		
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)			
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない					
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)		
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		これまで行政主導の交流を進めてきており、当面は現状どおり行政がその任を担うのが妥当と考える。		
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)		
<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		これまで行政主導の交流を進めてきており、訪問交流に際しても参加者の直接的利益を得るものではないことから、受益者負担は困難である。			

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	■ 現状維持
実施(予定)時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		■ 現状維持
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	■ 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	友好交流協定締結から、まだ4年しか経過していないことから、当面は、現状の交流を引き続き継続していく。 平成28年度は波佐見町で日韓陶磁器文化交流事業を行う予定である。				